

2019年度 事業実施報告書

1

生産性向上・合理化推進事業 [公益事業1]

本事業では「ものづくりの現場力をいかに強化するか」を主眼に、生産性の向上、品質・コストの改善において不可欠な実務知識や実践ノウハウを習得する場として、さまざまな切り口からセミナーや研修を開催した。

1-1 生産管理実務研修

概要	売れるものを売れる時期に売れるだけつくるとというのが企業の命題。そのために必要な生産管理手法（生産計画、工程管理、在庫管理、原価管理など）について学ぶものとした。	
実施内容	「生産管理」、「原価管理」、「外注管理」、「在庫管理」など	
	開催件数	61回

1-2 品質管理実務研修

概要	品質は企業の信頼や競争力を左右する重要なテーマである。不良品の発生を抑え、また、発生しても外に出さない仕組みづくりが不可欠であり、そのために必要な技術・手法を学ぶものとした。	
実施内容	「QC7つ道具」、「検査業務の見直し」、「作業標準書の作成」など	
	開催件数	58回

1-3 現場改善実務研修

概要	人の動き、作業の手待ち、設備のチョコ停など、現場に潜在するムダを徹底的に排除し、生産性を高めることで製造原価を下げる。実践に活かすさまざまな改善手法を学ぶものとした。	
実施内容	「5S実践」、「段取り改善」、「ムダ取り」、「見える化」、「改善提案」など	
	開催件数	64回

1-4 工場管理実務研修

概要	工場の管理・改善に必要な実務テーマを相互に関連づけ、実務者やリーダークラス、管理者までのスキルアップ研修。幅広い知識を複合的・体系的に学ぶことで、実務力の向上を図った。	
実施内容	「製造マネージャー研修」、「現場の問題解決」、「製造現場の部下指導」など	
	開催件数	47回

1-5 現場の基礎セミナー

概要	「VE」「IE」といった、ものづくり現場の改善に役立つ技法を紹介するセミナー。基本を学び今後の取り組みを促す。製造・技術部門の方を対象とし、学びのきっかけを提供した。	
実施内容	「ものづくり技法セミナー」	
	開催件数	12回

1-6 働き方改革・現場革新コース

概要	政府が掲げる「働き方改革」実現のために労働生産性の向上は不可欠である。そこで、製造現場を熟知したコンサルタントが工場へ出向き、現場の問題点を診断。その後、問題点を踏まえた解決策をセミナー形式で提供することで、現場力の強化を図った。	
実施内容	「工場診断・提案／指導」、「ISO運用の仕組み改善」	
	開催件数	37回

1-7 工場運営Webセミナー

概要	製造現場の改善活動や品質管理など、工場運営にまつわる基本的なテーマを取りあげた研修動画を制作し、Webで配信した。	
実施内容	「5S活動の基本」、「ムダとりへの挑戦」、「使ってみようQC7つ道具」など	
	制作件数	7件

本事業では、企業の技術力向上を目的として、設計・開発業務から図面をもとに製品・部品を形づくる加工技術の領域、円滑なものづくりを支える生産技術、および環境対応技術にいたるまで、さまざまなテーマを設定して研修を開催し、技術系人材の育成を図った。

2-1 工業技術セミナー

概要	機械や電気など生産技術に関する知識、金属や樹脂材料に関する知識、切削や溶接をはじめとする金属加工の知識など、あらゆる工業製品の製造に関わる技術テーマを網羅的に取りあげた。	
実施内容	「金属加工技術」、「プラスチック材料」、「表面処理」、「電気・シーケンス制御の基礎」など	
	開催件数	71回

2-2 環境技術セミナー

概要	企業の社会的責任として求められる環境負荷低減や温暖化防止への取り組み方を解説。あわせて知っておかなければならない環境関連の法規制についても取りあげた。	
実施内容	「ISO14001内部監査員研修」、「工場の省エネ」、「環境法規制対応」、「廃棄物処理」など	
	開催件数	8回

2-3 設計実務研修

概要	設計は品質やコストを決定づけるため、それを担う技術者のスキルアップは欠かせない。また、図面はものづくりの共通言語であるため、設計・製図に関してさまざまな研修を開催した。	
実施内容	「機械設計技術研修」、「強度設計」、「自己検図」、「図面の読み方」など	
	開催件数	50回

2-4 技能開発訓練

概要	知識修得だけでなく実際の現場での技能を身につける研修を開催。研修施設を持つ企業と提携し、専門の指導員による技能訓練を行い現場作業者のレベルアップを図った。	
実施内容	「機械保全」、「空気圧技術」、「PLC 制御」など	
	開催件数	9回

2-5 切削加工スクール	
概要	加工技術者に必要な知識や技術を、体系的に把握・理解することを目的とした長期研修。加工理論、工具、材料などの講義および加工実習・工場見学を行った。
実施内容	座学:「切削加工の基礎理論」、「工具の基礎」、「測定の知識」など夜間20回 実習:「旋盤」、「立フライス盤」、「直立ボール盤」、など8回 見学:DMG森精機(株)、大昭和精機(株)
	開催期間 5月～11月

2-6 省エネ情報セミナー	
概要	企業における環境問題対応の一環として、空調やコンプレッサといった工場設備の電力コストを削減するための方策について、実践展開できる情報を提供した。
実施内容	「省エネ対策セミナー」
	開催件数 8回

2-7 最新技術動向紹介セミナー	
概要	近い将来、実用化あるいは普及が見込まれる技術をとりあげ、最新情報を提供することを目的に開催。今年度は、事務・間接部門の定型業務を自動化する、ソフトウェア型ロボット「RPA」をテーマにセミナーを開催した。
実施内容	「RPA導入セミナー」
	開催件数 1回

2-8 技術・技能Webセミナー	
概要	ものづくりに必要な加工技術や現場作業の留意点などを、初心者にもわかりやすく伝えるため研修動画を制作し、Webで配信した。
実施内容	「フライス盤作業」、「旋盤作業」、「ボール盤作業」、「作業工具の正しい使い方」
	制作件数 4件

国内外の経営環境が依然として厳しいなかで企業が生き残りを図るためには、守りの戦術として財務面での経営基盤の強化や人事制度の整備を進める一方、攻めの戦術として営業力の拡充やグローバル市場の開拓にもいっそうの注力が求められる。こうした観点から、本事業では、現下の難局に立ち向かう取り組みを後押しし、必要な知識・情報を提供することで人材育成を支援するため、各種セミナー・研修を実施した。

3-1 人事管理実務研修

概要	労働関係法令の理解を促し、各種手続き業務をはじめ、従業員の採用や人事考課、賃金、処遇など、人事労務に関するテーマを全般的に取りあげた。	
実施内容	「人事労務管理基礎コース」、「賃金制度改訂」、「労働時間管理」、「採用戦略」など	
	開催件数	22回

3-2 営業強化実務研修

概要	基本的な営業マナーや商談・交渉スキルといったすべての営業社員に必要な能力、管理職として営業組織を率いるマネジメントスキルなど、それぞれの立場に応じた実践力を習得する研修を開催した。	
実施内容	「営業の基本マナー」、「交渉力強化」、「新規開拓営業」、「営業課長研修」など	
	開催件数	28回

3-3 国際ビジネス実務研修

概要	事業のグローバル化対応のためのセミナーを開催。経営者層には意思決定や戦略立案につながるテーマ、実務者向けには貿易書類の作成、法律知識などのテーマを取りあげた。	
実施内容	「貿易実務講座」、「輸出入通関手続」、「国際物流」など	
	開催件数	6回

3-4 階層別能力開発研修

概要	経営目標の達成に向けた各自の責任・役割の自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を整理する。立場に応じた職責を全うするための要諦を演習やグループ討議を通じて指導した。	
実施内容	「部長研修」、「課長研修」、「係長研修」、「主任研修」など	
	開催件数	53回

3-5 経営管理実務研修

概要	経営管理機能の強化を目指して、経営者・経営幹部・管理スタッフを対象に、具体的な実務課題を取り扱った中長期の研修を実施した。	
実施内容	「経理実務レベルアップ」、「損益分岐点分析」、「特許の実務知識」など	
	開催件数	63回

3-6 経営リスク対策セミナー

概要	情報提供の一環として、人材に関する課題・悩みを解消するためのヒントを掴んでいただくテーマ、ならびに企業が抱えるさまざまな経営リスクに対する対策を学ぶテーマを取りあげてセミナーを開催した。各部門の実務担当者を対象とした具体的かつ詳細なセミナーを複数回にわたり開催した。	
実施内容	「メンタルヘルスケア」、「自然災害とBCP」、「ネットセキュリティ」など	
	開催件数	24回

3-7 経営力・創造力強化セミナー

概要	新たな事業展開に求められる先見性や創造性を身につけることを目的に、アイデア発想、論理的思考といったテーマを設定。将来の経営を担う中堅社員を主な対象とし、実践的なトレーニングに力点を置いたセミナーを開催した。	
実施内容	「アイデア発想法セミナー」	
	開催件数	6回

3-8 働き方改革・制度革新コース

概要	働き方改革の流れのなかで、従来の就業規則を見直す必要に迫られる企業も多い。そこで、社会保険労務士を企業に派遣し、最新の労働関係法令を解説しながら、当該企業の就業規則の改訂方法を指導。また、昨今関心の高いハラスメント防止などのテーマで講師派遣による出前セミナーを実施した。	
実施内容	「就業規則改訂」、「ハラスメント&メンタルヘルス」	
	開催件数	20回

3-9 接遇スキル習得コース

概要	事務部門や営業部門を対象として、接遇について指導する出前セミナーを開催。顧客や来訪者との信頼関係を構築するための応対（コミュニケーション）について指導した。	
実施内容	「接遇・電話応対トレーニング」	
	開催件数	13回

3-10 経営実務Webセミナー

概要	経営者へのインタビューや経営戦略をテーマにした講演、あるいは基本的なビジネススキルなど、さまざまな階層の方向けに動画によるセミナーをWebで提供した。	
実施内容	「経営者セミナー」、「経営戦略」、「ビジネススキル&マナー」など	
	制作件数	13件

異業種・異分野の多彩な企業、かつ規模の大小を問わずさまざまな企業が集うのは、当協会ならではの特色である。その相互理解を促し、そこから新たなビジネスの芽を育むことも産業団体としての使命であると考え、講演会と交流会を組み合わせた事業を開催した。

4-1 経営革新研究会・講演会

概要	経済的環境の変化が激しい昨今、それに即応した経営革新を行い、新たな事業活動の促進が必要となる。経営革新のヒントや知識・情報を提供する研修会を開催した。	
実施内容	「第一線営業マン大会」、「工場長大会」、「人材活性化フォーラム」、「経営セミナー」など	
	開催件数	7回

4-2 国際経営研究会・講演会

概要	グローバル化がますます進展し、企業規模を問わず今後のグローバル展開は避けては通れない課題となっている。進出地域の多様化が進む昨今、各地域の市場・顧客特性を把握することが重要である。世界のビジネス環境の変化をとらえ、知識・情報をアップデートする機会を提供した。	
実施内容	「海外事情 最新情報セミナー」	
	開催件数	8回

当協会は約1,200社からなる会員組織を有し、大企業から小規模企業まで、また機械、金属、電機、化学、食品、あるいは卸売業といったように、規模や業種の異なる多様な事業所が参画していることが大きな特色である。こうした会員事業所間の有機的な連携と協調を促進するため、経営支援および会員交流に関わる事業を積極的に展開した。

5-1 大阪府工業技術大学講座		(後援/大阪府)
概要	1年間にわたる技術者育成研修。次代の技術力を担う若手・中堅技術者を対象に、機械系の工学基礎理論から応用技術知識までの修得、さらに高度な先端技術への理解を深めることを目的として、講義、実習、見学を行った。就業と研修の両立のため、講義は夜間に実施。大学の機械系学部に準じた基礎・専門科目をじっくり学ぶとともに、旋盤・溶接・CADなどの実技科目、実際のものづくり現場に触れる見学科目を組み合わせた。今年度は、より実学指向を目指して講義内容を見直すとともに、企業の実務者が講師を務める特別講義科目では、最近のトピックテーマに再編。また、見学研修の訪問先再選定を行うなどプログラムの充実を図り、第59期として実施した。	
実施内容	座学:「材料力学」、「機械製図」、「生産加工技術」、「機械計測」など28科目 実習:「NC旋盤」、「油空圧」、「溶接」、「製図」、「CAD」など8科目中2科目を選択受講 見学:ダイキン工業(株)、(株)西島製作所、(株)カシフジ、OKK(株)など10工場	
	開催期間	4月～2020年3月

5-2 新入社員教育講座	
概要	新入社員に社会人としての自覚を促すとともに、働くうえで必要な基本行動・知識を修得させる総合基礎教育のほか、職種別の導入教育やビジネスマナー研修を実施。さらに、機械金属・プラスチックメーカーに的を絞った専門知識を学ばせる研修、規律や礼儀を体得させる禅寺合宿研修など、多様なニーズに合わせたカリキュラムを提供した。
実施内容	「総合基礎教育」、「製造社員」、「営業基礎」、「技術系基礎」、「ビジネスマナー」、「材料の知識」、「加工の知識」、「図面の読み方」、「品質管理」、「禅寺合宿研修」など
	開催件数

5-3 経営力強化研究会

概要	<p>変化の激しい時代には、自身の目と耳で的確な情報を収集することが欠かせない。そこで、新たな市場領域の開拓、異分野でのビジネスチャンスの獲得など、事業の新展開につながるヒントを得るため、以下に挙げるようなさまざまな研究会を開催、個々の企業ではなかなか得られない情報に触れる機会を提供した。</p>
実施内容	<p>「知的財産研究会」 企業における法務や知的財産担当者、研究・開発部門スタッフを対象に全10回の研究会を開催。運営にあたって大阪工業大学知的財産学部と連携し、これからの知財保護・活用戦略を掘り下げて考える。テーマは、昨今関心の高い特許出願と秘匿主義の使い分け、オープンイノベーション、グローバル知財戦略などを取り上げた。</p>
	<p>開催期間 5月～2020年3月</p>
	<p>「EV（電気自動車）研究会」 自動車業界のトレンドである「電動化」。ガソリンやディーゼル車からEV（電気自動車）へのシフトが急速な勢いで全世界に広がりつつあり、この潮流は従来の産業構造を大きく変えるインパクトがある。こうした変化の現状と今後の展望を伝える研究会として、自動車メーカーや大手部品メーカーの講演を実施した。</p>
	<p>開催期間 5月～12月</p>
	<p>「金属積層3Dプリンタ研究会」 昨年まで開催していた、プラスチック材料を中心とした、3Dプリンタの技術についての紹介、導入から活用事例に至るまでの研究会を発展させ、今年度は次世代のものづくりとして注目を集める金属積層3Dプリンタを主題に設定。装置、材料、活用事例など、幅広い情報を提供した。</p>
	<p>開催期間 6月～2020年1月</p>
	<p>「次世代の工場 最新技術研究会」 ものづくりは、世界的に大きな変革の時を迎えている。新しい生産方式が登場し、オンデマンド生産、パーソナライズ化、スマートファクトリー化などといったキーワードで語られている。これらを可能とするのは、ロボット技術やFAシステム、デジタル機器などに代表される最新テクノロジーである。本研究会では、次世代の工場をテーマに、生産現場のIT化・IoT化、ロボット活用などの事例を紹介した。</p>
	<p>開催期間 8月～2020年2月</p>
	<p>「AI（人工知能）研究会」 新たなサービスやビジネスの創出、製造現場の労働力確保、付加価値生産性の向上、熟練者の技能の継承といった、さまざまな課題に対し、AI（人工知能）実用化による解決に大きな期待が寄せられている。AIで何が変わり、何ができるのかという事例を提供すべく、工場はもとより企業全体でのAI活用に向けたヒントを提供した。</p>
	<p>開催期間 10月～2020年3月</p>
<p>「物流効率化研究会」 小ロット多頻度納品の増加、人手不足による輸送コスト上昇などを背景に、物流部門の業務効率化が喫緊の課題となっている。本研究会では、庫内作業の見直しや予測技術を活用した庫内最適化、サプライチェーン密着による物流改善といったテーマを取りあげ、物流効率化の実践事例に学ぶ場として開催した。</p>	
<p>開催期間 11月～2020年3月</p>	

5-4 現場力強化研究会

概要	<p>日本が世界に誇れる分野であるものづくりをさらに磨きあげるには、現場の知恵と工夫による改善にさらに注力しつつ、最新技術を追求する必要がある。常に求められる変化と革新に対応できるよう、ユニークかつ豊富な事例と実践知識を学ぶ場として研究会を開催した。</p>
実施内容	<p>「工場経営研究会」 ものづくり企業の経営幹部・工場責任者が一同に会し、ディスカッションや情報交換により相互研鑽を図った。テーマは、生産管理や改善手法など工場に不可欠な実務知識から、財務・会計、人事労務、人材育成までを幅広く網羅している。将来にわたって事業を継続させていくための先導者として、経営感覚を身につけるとともに、経営の視点から工場全体を統括・マネジメントできる力を高めた。</p>
	<p>開催期間 4月～2020年3月</p>
	<p>「工作機械加工技術研究会」 最近の工作機械は、超精密加工、高速化、省エネ性といった時代の要請に合わせて進化を続けており、国際的な企業間競争を勝ち抜くために、より一層技術レベルの向上が図られている。この研究会では、最新技術動向や、振動対策、省エネ対策、などをテーマに、機械メーカーの見学や先進事例を紹介する講演会を開催した。</p>
	<p>開催期間 5月～10月</p>
	<p>「簡易自動化研究会」 最先端技術の採用ではなく、現場の地道な改善に着目。お金をかけずに現場の知恵を結集し、手軽かつ大きな効果を生む簡易自動化を取りあげた。重力やてこの原理、ぜんまいや滑車などのからくり機構と、モータやセンサなどの動力や簡単な制御機器を活用して絶大な効果をあげた具体的な事例を紹介し、工場の体質強化に寄与した。</p>
	<p>開催期間 6月～2020年1月</p>
	<p>「技能伝承実践研究会」 少子高齢化が進み、若年労働者が減少するなかで高い生産性を維持していくためには、熟練作業者がもつ自社特有の技能やノウハウをうまく伝承していかなければならない。本研究会では、昨今の製造現場が抱える技能伝承問題について、技能の洗い出しや体制・マニュアル作り、デジタルツールの活用など、解決のヒントを提供した。</p>
	<p>開催期間 7月～12月</p>
	<p>「生産技術者スキルアップ講座」 かつてのものづくり大国と呼ばれた日本であるが、新興国の台頭により、単純なものづくりでは海外生産に太刀打ちできない。そこで、競争力強化の要となる生産技術者のスキル向上の場として開催。自動化・省力化、IoT化、柔軟で高効率な生産ラインの構築などをテーマに、強い現場をつくるヒントを提供した。</p>
	<p>開催期間 10月～2020年2月</p>
<p>「生産支援ロボット活用研究会」 危険作業や重労働の作業改善ツールとして、労働人口減少に対応するため、生産現場での生産支援ロボットの活用が年々増加している。AI搭載の協働ロボットや無人搬送ロボット、ピッキングロボットなど、実際に活用している企業の事例を中心に、そのメリットや導入にあたって留意すべき点などをテーマに研究会を開催した。</p>	
<p>開催期間 11月～2020年3月</p>	

5-5 新技術研究会	
概要	需要の変動に対応し、変種変量生産を機敏にこなす工場。オンリーワン技術で強みを発揮する工場。海外生産拠点のマザー機能を発揮する工場。などなど国内生産で強い競争力を持つ工場はまだまだ数多く存在し、日本のものづくりの底力を体現している。こうしたメーカーの現場見学と技術講演を行い、独自のコンセプトを見る・聴く・学ぶことによって最新の技術動向を掴み、今後の経営や工場運営に役立つ情報を吸収した。
実施内容	定例研究会:DMG森精機(株)、THK(株)など11社を訪問 特別研究会:ジェイ・バス(株)、鍋屋バイテック(株)など4社を訪問
	開催期間 4月～2020年2月

5-6 施設と工場見学研修	
概要	三現主義という言葉があるように、机上の論理ではなく、「現場」で「現物」を観察し「現実」を認識したうえで問題解決を図ることが重要である。とくに、ものづくりにおいては現場から学ぶことが多く、生産性の向上、製品の改良、新製品開発のヒントも現場でこそ見出すことができる。異分野の現場に学ぶ見学研修を積極的に実施し、経営者あるいは技術者の情報収集ニーズに応えた。
実施内容	「関西元気企業訪問」、「優秀工場見学会」、「ロジスティクス施設実地見学会」など
	開催件数 11回

5-7 海外産業視察研修	
概要	世界の経済情勢は刻々と変化しており、「百聞は一見に如かず」の言葉どおり、現地を訪れることには大きな意義がある。海外のものづくり現場の実地見学を行うとともに、現地駐在者から経営上あるいは工場運営上の課題、市場動向、インフラ整備状況などについて説明を受けた。マスメディアでは得られない活きた情報を掴むことができた。
実施内容	「中国」「スペイン」「インドネシア」
	開催件数 3回

5-8 経営者・経営幹部交流会	
概要	若手経営者の交流・研鑽の場である「朝活」。加えて、大会・フォーラムの開催にあわせて交流懇親会を行い、経営者や各部門責任者の情報交換・人脈形成の場とした。
実施内容	「朝活」「工場長大会」「営業マン大会」「人材活性化フォーラム」「経営セミナー」
	開催件数 13回

5-9 機関誌商工振興刊行	
概要	会員企業の情報を発信することを目指し、経営者へのインタビュー記事「会員企業訪問」や「私が大切にしている言葉」「私のお薦めの一冊」「わが社のイチバン！イチ押し製品」といった記事を掲載。また、「これからの“ひとづくり”と“ものづくり”」「品質を作り込むために」「物流改善ネタ発見」といった協会ならではの企画記事も掲載した。

5-10 優良従業員表彰

概要	会員事業所における従業員の勤労意識増進を図るため、1962年より毎年実施。永年勤続かつ他の模範であるとして事業主から推薦を受けた者を選考し、会長名による表彰状の授与、ならびに祝賀会を行った。	
	開催日	2019年11月7日 表彰式および祝賀会

5-11 経営指導と情報提供

概要・ 実施内容	会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行ったほか、社内研修の要望に対しては、ニーズに合ったカリキュラムの編成から講師派遣までをサポート。従業員の自己啓発・自主活動に対しては、通信教育講座および研修用DVD教材の貸し出し等により対応した。	
	社内研修の支援(講師派遣)	
	開催件数	7事業所に対し計9回実施
	通信教育講座の開催	
	開催件数	441コース

5-12 展示商談会

概要	会員事業所と大手メーカーとをつなぐマッチング事業として、会員事業所が持つ技術・製品を直接アピールする「新技術・新工法展示商談会」。今年度はダイハツ工業(株)池田第一工場を会場に開催し、30社が出展。同社の調達・技術担当者や関連サプライヤーから268名が来場した。	
	開催日	2020年2月4日

5-13 会員交流と懇談会

概要	新春年賀交歓会やゴルフコンペなどを開催。自由な雰囲気の中かで会員同士の相互理解・親睦を深めた。	
実施内容	会長杯ゴルフコンペ、創立70周年記念懇親ゴルフ大会、新春年賀交歓会	

5-14 創立70周年記念式典等

概要	2019年12月をもって当協会は創立70周年を迎えた。記念すべき節目を会員とともに祝い、協会設立の趣旨をあらためて思い起こす機会として祝賀行事を開催した。	
	開催日	11月26日(ホテルニューオータニ大阪「鳳凰の間」)